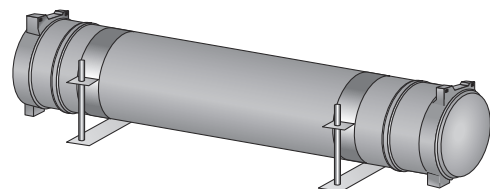


エスロン®飲料水貯留システム 操作説明書

- ⚠ …… 製品性能を確保するために必ず守っていただきたい事項
⚠注意 …… 安全な作業をしていただくために、必ず守っていただきたい事項

- 本貯留槽は、水道水を一時貯留させております。通常時に4日以上水を使用しなかった場合は、貯留水の水質が低下している恐れがありますので、取水用器具の使用を再開する際には、24Lタイプは最初の70L(全開使用で10分程度)、36Lタイプは最初の110L(全開使用で15分程度)を飲用以外でご使用ください。
- 非常時、断水から4日以上経過した貯留水は、水質が低下している恐れがありますので、煮沸してからご使用ください。
- 1年に1回を目安に、作動と取水の確認を行ってください。

操作手順を動画で
ご確認ください



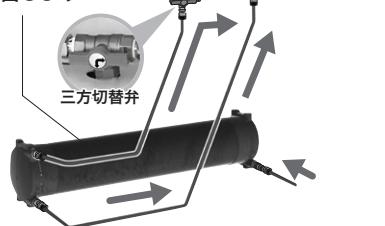
製品の特長

- 普段の水使用で、床下の貯留槽に常に新鮮な水を備蓄します。
- 災害等による断水時、加圧ポンプの操作によって、備蓄した飲料水を24L(36L)、予め設定した水栓(蛇口)から取り出せます。

システムのしくみ

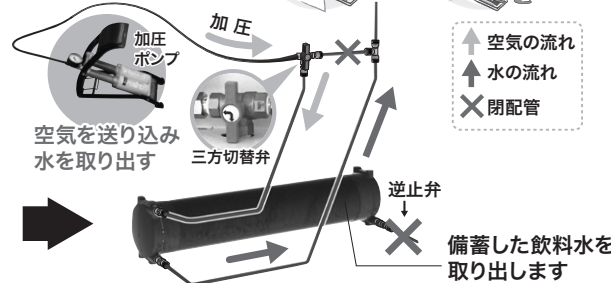
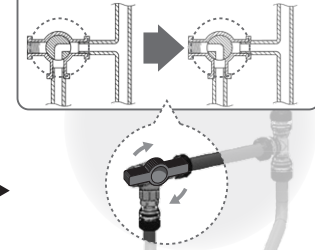
通常時

普段の水使用で新鮮な水を
備蓄します



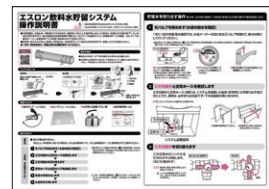
非常時

三方切替弁のハンドルを操作



準備するもの

- 加圧ポンプ: 1台(同梱品)
- ポンプマット: 1枚(同梱品)
- 水を受ける容器(ヤカン等)
- 操作説明書※本紙



操作のながれ

通常時

- 特に作業はありません。
4日以上、水を使用しなかった場合は、24L品は最初の70L、36L品は最初の110Lを飲用以外でご使用ください。

非常時
取水確認(年1回)

- 1 元バルブを閉めます(水道の断水を確認)
- 2 三方切替弁と空気ホースを確認します
- 3 三方切替弁を切り替えます
- 4 空気ホースと加圧ポンプを接続します
- 5 貯留水を取り出します
- 6 水道を元に戻します

※既に断水している場合(非常時)は、1の手順を省略しても水は取り出せますが、予期せぬにごり水の浸入を防ぐため、元バルブは閉めるようにしてください。

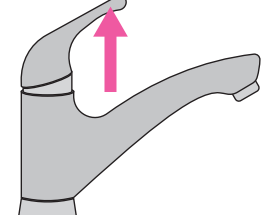
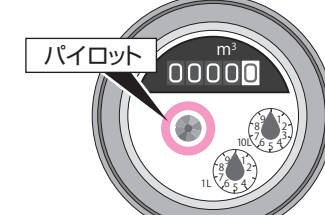
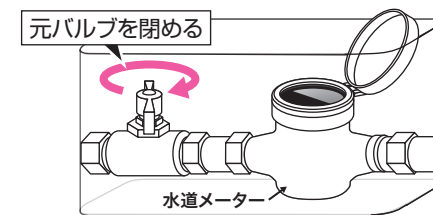
※1年に1回の取水確認時は、5のところで、システムにつながっていない蛇口を1ヶ所開き、水が出ないことを確認してください。

貯留水を取り出す操作 断水時、及び取水確認にて貯留水を取り出す際の操作手順を説明します。

1 元バルブを閉めます(水道の断水を確認)

1年に1回の作動・取水確認では、水道メーター付近にある元バルブを閉めて、断水状態にして行ってください。

※既に断水している場合(非常時)は、「1元バルブを閉めます」の手順を省略しても水は取り出せますが、水道復旧時に予期せぬにごり水の浸入を防ぐため、元バルブは閉めるようにしてください。



- ハンドルを時計まわりに回します
 - レバー式の場合、90度倒します
- ※戸建住宅の場合、地面に埋められ、フタに「量水器」の表示がしてあります。フタが開けにくい場合は、ドライバー等を差し入れてください。

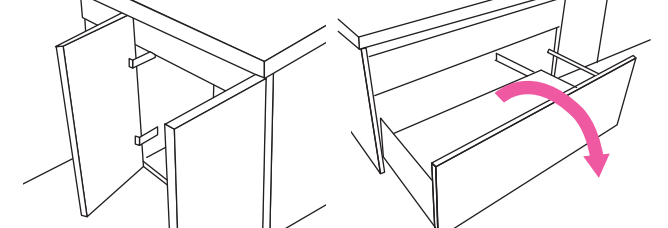
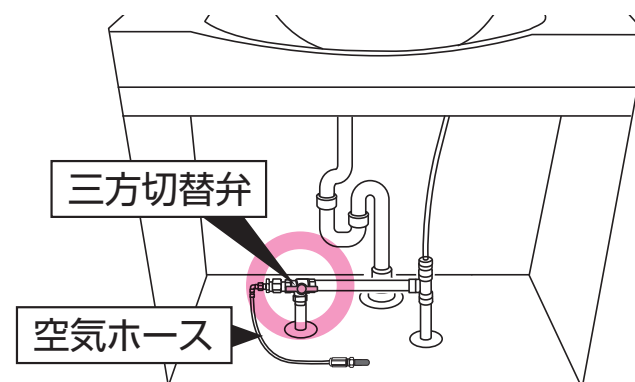
●パイロットが回転していないことを確認してください

●蛇口を開けても水が出ないことを確認してください

2 三方切替弁と空気ホースを確認します

三方切替弁と空気ホース(透明)は、システムを設置した器具(非常時に水を取り出す蛇口のことです。通常は、台所または洗面です)下の収納庫の奥にあります。

※下図○印、ハンドルのついた継手が三方切替弁です。



※収納庫の扉を開けてください。 ※収納庫が引き出しの場合は、引き出しを外してください。

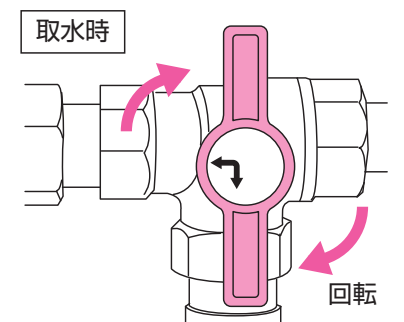
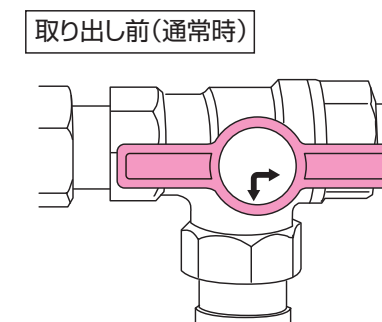
システム設置器具

3 三方切替弁を切り替えます

三方切替弁のハンドルを
ヨコからタテに回転します。
(右に90度まわす)

⚠注意 操作時、指などをはさまないように注意してください。

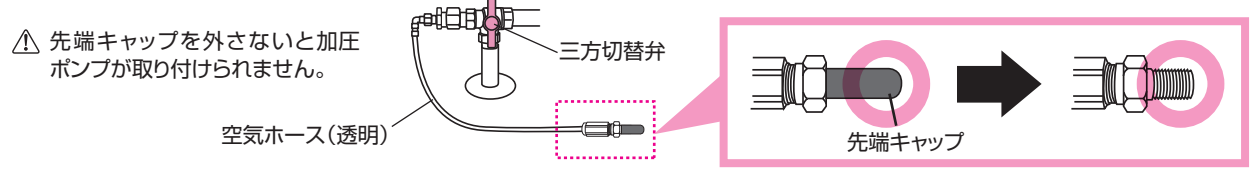
⚠ ハンドルは最後まで回してください。途中で止めると水を取り出せません。



貯留水を取り出す操作 断水時、及び取水確認にて貯留水を取り出す際の操作手順を説明します。

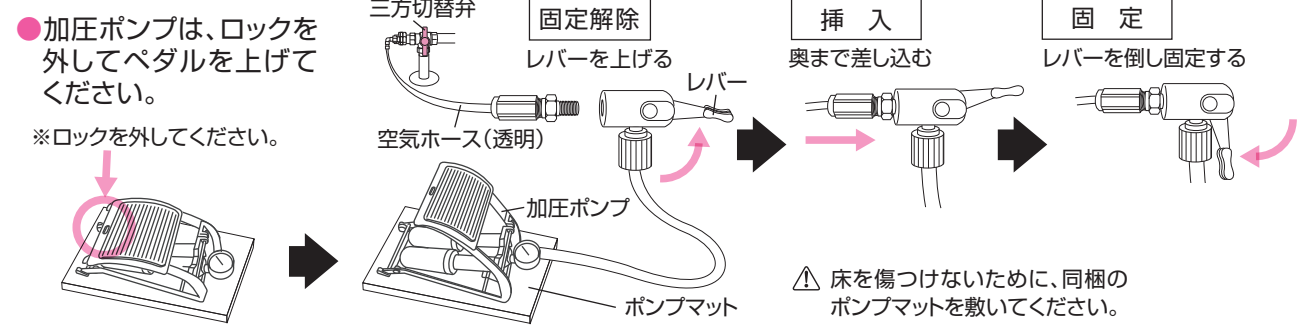
4 空気ホースと加圧ポンプを接続します

①三方切替弁に付いている空気ホース(透明)の先端キャップを外します。



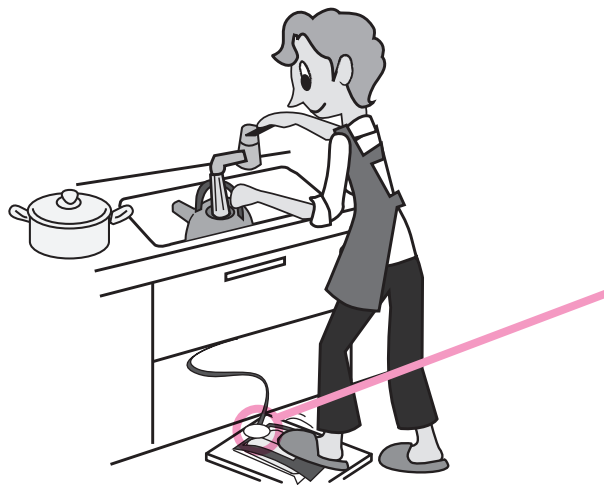
②加圧ポンプを取り付けます。加圧ポンプは同梱品をお使いください。

- ⚠️ 注意 しっかりと取り付けてください。加圧中に外れるとホースが跳ねて危険です。
- ⚠️ 加圧ポンプに付属している各種アダプターは取水作業では使用しません。



5 貯留水を取り出します

システム設置器具の蛇口を開き、加圧ポンプを足で踏んで空気を送り込むと、水が出ます。



●200kPa以内を目安に加圧してください

●500kPa以上加圧しないでください

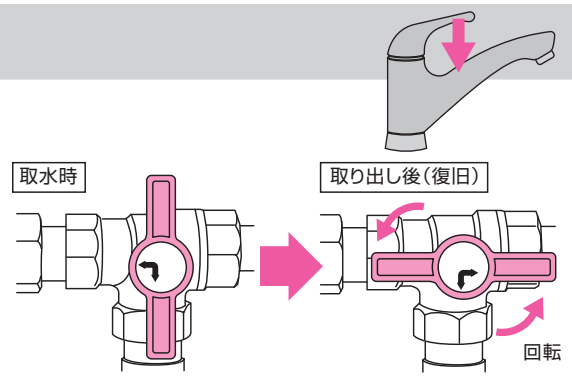
⚠️ 注意 加圧ポンプは、圧力上限を500kPaとし、それ以上加圧しないでください。また、事故の原因にもなりますので必要以上に加圧しないでください。

- 空気圧は200kPa以内を目安にご使用ください。200kPaでも、水も空気も出てこない場合、一旦加圧を止めて、蛇口が開栓していることと、三方切替弁のハンドルがタテになっていることを確認してください。
 - ⚠️ 注意 ポンプは片足で踏んでください。力をこめた際に転倒しないよう、周囲(台所・洗面の機器等)に手を添えてください。
 - ⚠️ 蛇口は「水」にしてください。「湯」では水を取り出せません。「浄水」は使用可能ですが、水の出が悪い時は「原水」にしてください。
 - ⚠️ 自動水栓で停電している場合は、手動にて蛇口を開いてください。
 - ⚠️ (ハンドル操作を行った)三方切替弁の先にある蛇口からしか、水は取り出せません。
 - ⚠️ 加圧ポンプを操作して、当初は水が出ていたものが、空気しか出なくなったならば、水を取り出し切った可能性があります。
 - ⚠️ 断水後4日以上経過した水は、水質が低下している恐れがありますので、煮沸してからご使用ください。
 - ⚠️ 取水後は蛇口を閉めてください。蛇口が開いたままですと、通水を開始した時に水が流れ続けることになります。
 - 1年に1回の作動・取水確認では、システム設置器具以外の蛇口も1ヶ所開けて行ってください。
(例:システム設置器具が台所の場合⇒洗面蛇口も開ける、設置器具が洗面の場合⇒台所蛇口も開けるなど)
- この操作によって水が出て来た場合は、逆止弁の故障が考えられるため、住宅メーカー、または工事業者にご相談ください。

貯留水取り出し後の操作 水道を元に戻す手順を説明します。

6 水道を元に戻します

- ①蛇口が閉まっていることを確認します。
- ②三方切替弁のハンドルをタテからヨコに戻します。(左に90度まわす)
- ⚠️ 注意 操作時、指などをはさまないよう注意してください。
- ⚠️ ハンドルを戻さないと水質汚染の原因になる可能性がありますので、必ず戻してください。
- ⚠️ ハンドルは最後まで回してください。



- ③加圧ポンプを外した後は、三方切替弁の空気ホースの先端にキャップをつけてください。
- ⚠️ キャップを付けないと異物が混入する恐れがありますので、必ずつけてください。
- ④使用した加圧ポンプ、ポンプマット、操作説明書(本紙)は、元の位置に戻してください。

【水道復旧の際のご注意】

- 取水確認時 取水確認の終了後は、水道メーター付近の元バルブを開き水道を元に戻してください。
 - 非常時(断水時) 予期せぬにぎり水を防ぐため、断水が解消するまで元バルブは閉めておいてください。(復旧の案内が無い場合もありますので、適宜バルブを開けて確認してください) 通水再開時は、先に浴室等から水を流してください。
- 通水開始後、最初の5～10分程度は、空気と水が同時に出て大きな音が出ますが異常ではありません。しばらく水を流すとおさまります。
- ⚠️ 蛇口が開いたままですと、水道復旧時に水が流れ続けることとなりますので、必ず閉めてください。

故障かな?と思ったら

状態	現象	想定される原因	対処の方法
通常時	水が出ない	元バルブが開いていない	元バルブを開けてください
	水に異味・異臭を感じる	4日以上、水を使用しなかった	残留塩素が低下し、水質が低下している恐れがあるので、最初の70L(24L品)、または110L(36L品)を、飲用以外でご使用ください
非常時 (取水確認時)	空気ホースと加圧ポンプが接続できない	空気ホースの先端キャップを外していない	先端キャップを外してください(ゴムキャップを付けていますが、一部に金属のネジ込みキャップを使用している場合があります)
		加圧ポンプのホースにアダプターを取り付けている	アダプターを取り外してください(加圧ポンプ同梱の各種アダプターは使用しません)
		空気ホースと加圧ポンプが接続されていない	三方切替弁からの空気ホース(透明)と、加圧ポンプのホースを、しっかり接続してください
		水栓の蛇口が開いていない	蛇口を開けてください
		システムを設置した器具とは、別の水栓(蛇口)を開いている	システムを設置した器具の水栓(蛇口)を開けてください
	加圧ポンプを踏んでも水が出ない	蛇口が「水」ではなく「湯」になっている	蛇口を「水」に切り替えてください
		三方切替弁を切り替えていない	三方切替弁を切り替えてください(ハンドルをタテにしてください)
		空気ホースが三方切替弁とつながっていない、または空気ホースに欠損がある	使用を中止し、住宅メーカー、工事業者にご相談ください
		加圧ポンプのペダルが上がっていない(収納時は、ペダルをロックしています)	加圧ポンプのロックを外して、ペダルを上げてください
		加圧ポンプから空気を送り出せない(圧力ゲージが上からない)	加圧ポンプの故障、ポンプホースの欠損の可能性があります。ポンプを交換してください
非常時 (断水時)	水に異味・異臭を感じる	貯留槽の水を使い切り、24L(36L)を既に取り出した	貯留槽が空になりましたので、水道復旧までお待ちください
		貯留槽の水を使い切っていないが、槽内に水が残っていない	逆止弁の故障、配管の破損等により水が失われた可能性があります。住宅メーカー、工事業者にご相談ください
	非常栓以外の蛇口を開いたら水が出てくる	断水後4日以上経過している	残留塩素が低下し、水質が低下している恐れがあります。煮沸してからご使用ください
	水道復旧時、大きな音がする	貯留槽に付いている逆止弁の故障の可能性があります	住宅メーカー、工事業者にご相談ください
		貯留槽内の空気が排出されている音です	異常ではありませんので、しばらく水を流してお待ちください

末永くお使いいただくために

- 非常時に確実に使えるよう、1年に1回、取水の確認を行ない、必要な道具(加圧ポンプ等)が揃っていることを確認してください。
- 1年に1回の取水確認では、システムを設置した器具(非常時に使う蛇口)以外の蛇口を1ヶ所開き、水が出ないことを確認してください。万が一、水が出てきた場合は、逆止弁の故障の恐れがありますので、住宅メーカー、工事業者にご相談ください。
- 加圧ポンプは、本用途以外では使用しないでください。(タイヤの空気補充等に使うと臭い移りの原因になる恐れがあります)